

東京運輸協恒例潮干狩り開催！

5月9日（土）、東京運輸協議会恒例の潮干狩りが今年も開催されました！



今年は、家族を含め概ね50名もの参加があり、大漁のアサリを思い浮かべて毎年挑戦している人を中心に、今年こそはとの思いの会話が船上で行われていました。この時期はあまり天候に恵まれない開催が多かったのですが、今年は一転して肌を刺すような日差しのもとで浜松町からつり船で、心地よい海風を感じ臨海副都心を眺めながらの45分間のクルージングを楽しみ、漁場へ、また、大潮と重なり東京湾にまだ残っている広大な干潟が良く見え、この自然を残していかなければとの思いもよぎるような絶好の日となりました。



天気も良くて暑かった！

漁場は広大で1時間40分ほどの漁でありましたが、はしけで釣り船に戻る参加者の顔には大量を意味する微笑み、中にはうつむき加減の人も。しかし、そこは仲間を大切にする気持ちでおすそ分けがしっかり存在していました。ちなみに、10キログラムぐらい捕った参加者もありました。釣り船に戻ってからはお弁当をひろげ、冷たいビールと焼酎を飲みながら、採ったアサリの夕飯のレシピを語るなど、楽しい会話で家族を含めた交流を深めました。

帰りの船上では子供たちを中心に東京湾クルージングでの景色の面白さが話され、「こんなになってんだ東京湾は？」という驚きも出されていました。初めて参加された人も、毎年参加されている人も年一回のお楽しみを満喫できた一日でした。尚、下船時の皆さんの顔は「日焼け」か「酒やけ」なのか、区別のつけようが無い顔色となっていたことはいうまでもありませんでした。東京運輸協の皆さんご苦労様でした、今後も団結を深めて頑張りましょう！